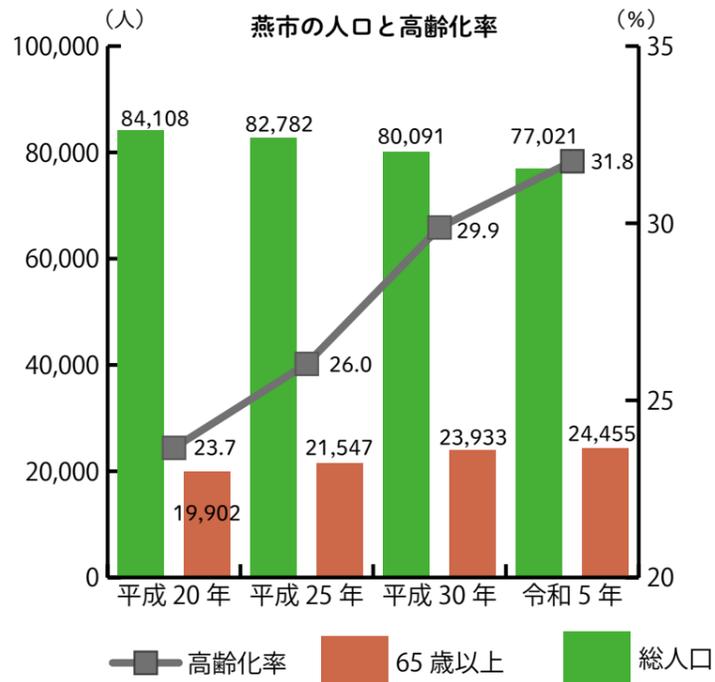


燕市の令和5年3月末時点の全人口に占める65歳以上の人の割合は、約32%となっています。燕市も年々高齢化が進んでいます。

高齢化が進むと認知症の人も増えてきます。国内の認知症患者数の推測値を燕市の人口に当てはめてみると、令和5年3月末の65歳以上の人口が2万4455人なので、燕市には認知症の人が約4000人いると推測できます。

燕市の認知症の人はどれくらいいるの？



出典：各年3月末時点の住民基本台帳



(写真) オレンジリングカフェで頭の体操をしている様子

特集 「認知症」
住み慣れたまち燕で自分らしく生活するために

認知症になっても自立して暮らしている人が全国で増えてきています。

燕市も例外ではありません。認知症の人やその家族だけではなく、周囲の人の理解も得られるような取り組みが求められています。

地域で認知症の人を見守ったり、支え合ったりする環境をつくるためにも、認知症について知ることが大切です。



菊川脳神経内科クリニック 院長 菊川 公紀さん

▼『つばめ認知症あんしんガイド3』



「もしかしたら認知症かもしれない」と心あたりがある人は、お早めにかかりつけ医や地域包括支援センターなどに相談することをオススメします。また、燕市発行の『つばめ認知症あんしんガイド3』も大変参考になります。

認知症は、一度正常に発達した認知機能が、後天的な脳の障がいによって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障を来す状態のことです。実は病名ではありません。

5人に1人は認知症になると言われていますので、珍しい病気でもありません。早い段階で適切な治療を受けることで、症状の進行を遅らせたり、改善したりすることができます。

認知症について専門医にお聞きしました！

認知症とは？

認知症の代表的な症状に物忘れがあります。この「物忘れ」自体は、誰にでもみられること。同じ「物忘れ」でも、普通の「物忘れ」と認知症による「物忘れ」には違いがあります。

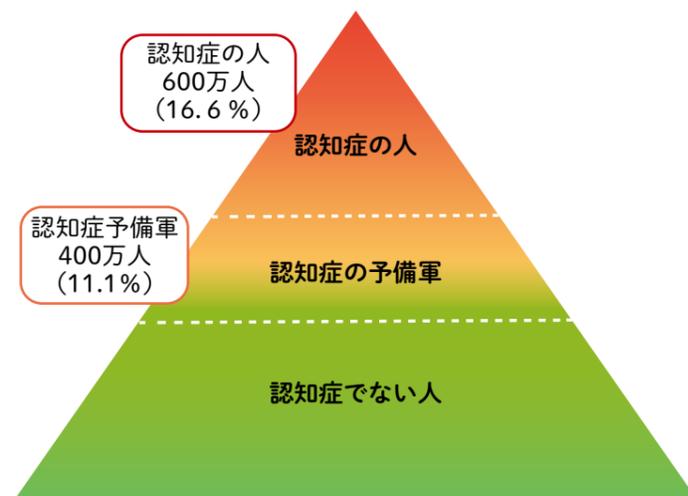
● 加齢などによる普通の「物忘れ」

経験したことの一部を思い出せない
何を食べたか、全ては思い出せない
聞いたことはあるが、曲名を思い出せない
物を置いた場所を忘れ、探し回ることがある
ヒントがあると思い出せる

● 認知症による「物忘れ」

経験したことのすべてを忘れている
食べたこと自体を忘れている
初めて聞くようで、曲名も分からない
置き忘れや紛失が頻繁にある
ヒントがあっても思い出せない

日本の認知症患者数の推測値 (令和2年調査)



出典：公益財団法人 日本ケアフィット 共有機構

日本では65歳以上の5人に1人が認知症に！

公益財団法人日本ケアフィット 共有機構の調べによると、令和2年時点での65歳以上の人口が約3617万人で、その内、認知症の人が推測で約600万人にのぼって

いるという分析結果が出ています。また、認知症予備軍は約400万人と推測されています。

厚生労働省のデータでは、今後、団塊の世代(第一次ベビーブーム生まれ)が75歳以上となる令和7年には、高齢者の5人に1人が認知症になると言われています。

どれくらいの方が認知症にかかっているの？